

経営比較分析表（令和3年度決算）

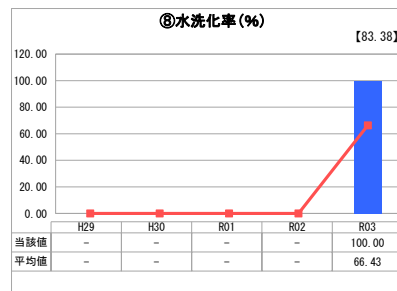
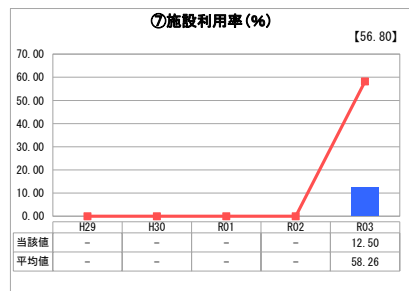
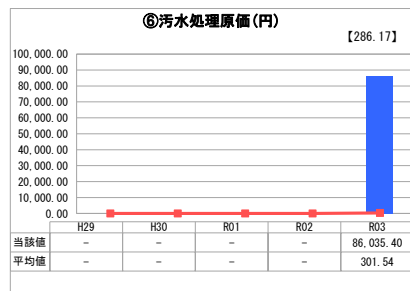
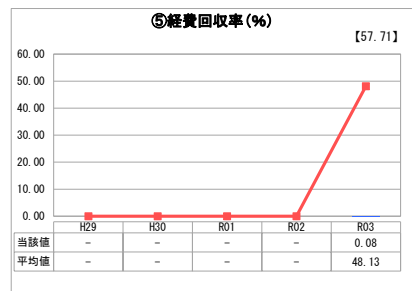
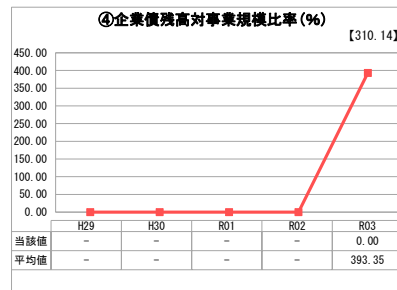
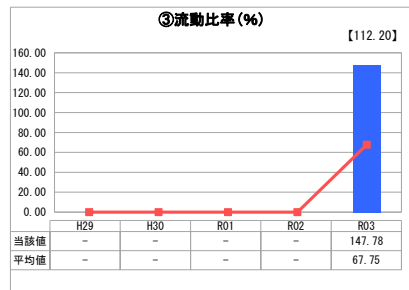
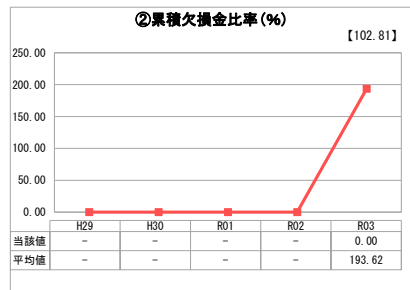
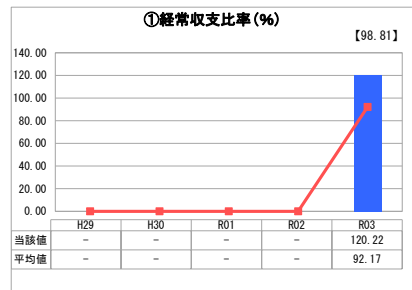
埼玉県 小川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.71	0.06	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,647	60.36	474.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17	1.10	15.45

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
経常収支比率は100%を超えているものの、令和3年度から事業を開始したため、その財源のほとんどが基準外繰入金となっている。

②流動比率
流動比率は、類似団体よりも高くなっているが、事業開始初年度で規模も小さいため数年間は、大きく変動する見込み。

③企業債残高対事業規模比率
企業債は発行していない。

④経費回収率
事業開始初年度のため、使用料収入は少額となったため、低い水準となっているが、今後整備基数が増えるに従い、改善されていく見込み。

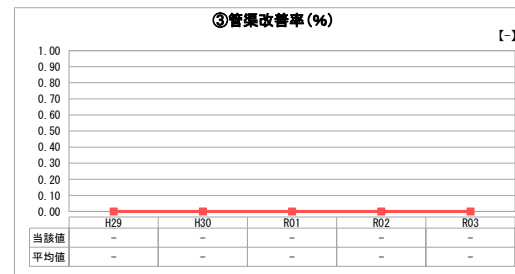
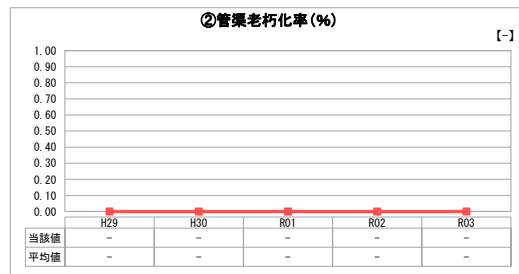
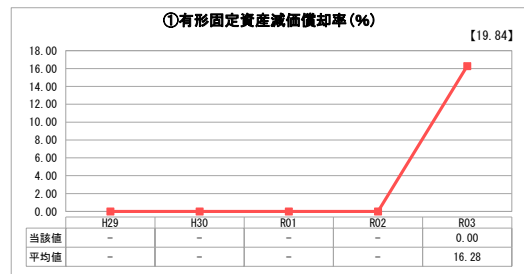
⑤汚水処理原価
事業開始間もなく整備基数が少ないため、汚水処理原価が大きくなっているが、事業の進捗に伴い減少していく見込み。

⑥施設利用率
開始年度のため、処理水量が少なかったため低い水準となったが、後は基数の増加に伴い高くなっていく見込み。

2. 老朽化の状況について

事業開始年度は、新設整備基数5基、受贈したもの1基であり、耐用年数を迎えた浄化槽はないため、老朽化に関する各種比率は0となっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和3年度に開始した事業なので、財源は基準外繰入金に頼ったものとなっている。今後は、整備基数が増加し使用料収入も増加していくため、経費回収率はあがっていくと見込まれる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。